

高等学校地理歴史(地理)

その2

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

[3] 次の表は、2005年の世界の主な農作物ア～エの生産高の国別割合を表したものであり、表中のA～Cは、同一の国を表している。これについて、下の(1)～(5)の問いに答えなさい。

ア	A 29.6%	B 21.1%	インドネシア 8.7%	パプアニューギニア 6.5%	ベトナム 5.9%	その他 28.2%
イ	A 15.4%	B 11.4%	C 9.1%	ロシア 7.6%	フランス 5.9%	その他 50.6%
ウ	C 40.2%	A 19.3%	ブラジル 5.0%	メキシコ 2.9%	アメリカン 2.8%	その他 29.8%
エ	A 24.3%	C 22.0%	B 10.6%	パキスタン 9.1%	ウズベキスタン 5.3%	その他 28.7%

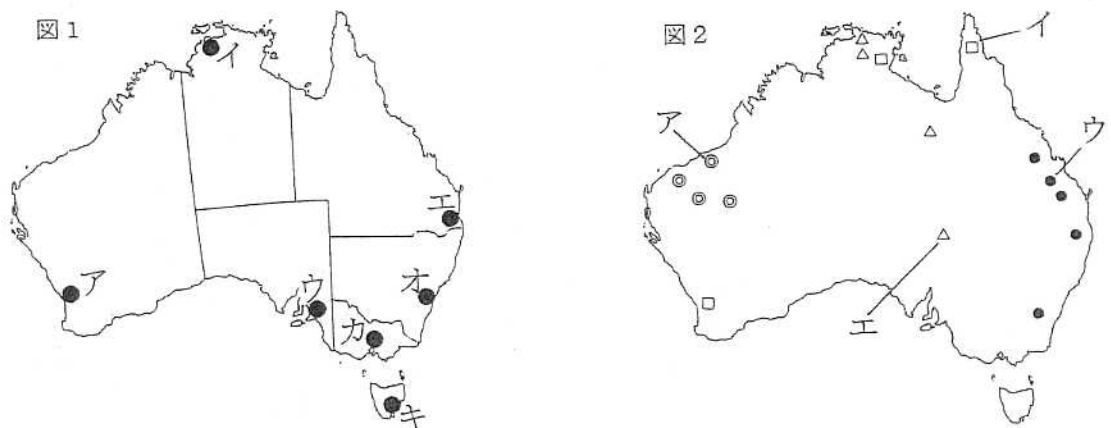
(「データブック オブ・ザ・ワールド2007」により作成)

- (1) ア～エにそれぞれ当てはまる農作物の名称を書け。
- (2) A～Cにそれぞれ当てはまる国名を書け。
- (3) Aにおいて、稲作と畑作の境界を形づくっている山脈名と河川名を、それぞれ書け。
- (4) Bにおいて、1950年代の土地改革で廃止されるまで続いた、徴税請負人に大土地所有を認めていた制度を書け。
- (5) Cにおいて、中西部などで見られる、企業的な肉牛肥育場は何とよばれているか書け。

[4] 次のオーストラリアについての文と、図1、2のオーストラリアの地図について、下の(1)～(6)の問いに答えなさい。

イギリス人によるオーストラリアの開発は、1788年にアーサー＝フィリップ大佐に率いられた人々が、ボタニー湾から上陸したことをきっかけに、都市(A)付近からはじまった。その後、19世紀には海岸に近いビクトリア州の(B)、クィンズランド州の(C)、ウェスタンオーストラリア州の(D)などの都市が建設され、それぞれの州都に発展した。その後、これらの都市から内陸に向かって開拓が行われた。19世紀半ばに起こった(a)を契機に多くの国から人々が流入し、人口が急増した。①鉄鉱石や石炭、ウラン、ボーキサイトなどの鉱山も開発されたが、採掘権をめぐる(b)とよばれる先住民と紛糾することもあった。一方では、大規模な農業地域が形成されていった。海岸部に近づくほど降水量が多くなるため、沿岸部では酪農や混合農業が盛んであり、内陸部の(c)盆地では、②被圧地下水を利用した(d)により牧草が栽培され、放牧が盛んである。

我が国は、オーストラリアの鉱産資源や農産物の輸入国であり、経済的な結びつきは強いが、③ワーキングホリデー制度のように人的な結びつきも強く、太平洋を取り巻く経済組織である(e)の加盟国としても強い結びつきがある。



(帝国書院 新詳高等地図より作成)

- (1) 文中の(a)～(e)に当てはまる語句を書け。
- (2) 文中の(A)～(D)の都市名を書き、その都市の所在地を図1のA～Kから選び、その符号を書け。
- (3) 下線部分①について、図2は主な産出地の分布を示している。それぞれの鉱産資源に当てはまるものをA～Eから選び、その符号を書け。
- (4) 下線部分②について、被圧地下水の構造を図にあらわし、その図をもとに説明せよ。
- (5) 下線部分③について、その制度の目的を書け。
- (6) オーストラリアは、多くの移民を受け入れてきた国である。白豪主義から多文化主義へ移行する間に、オーストラリア移民として移住した人々の地域や国の変化について、世界の経済や政治の動きをふまえて具体的に書け。